

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

茨城県 小美玉市

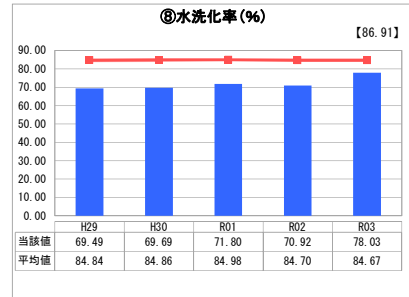
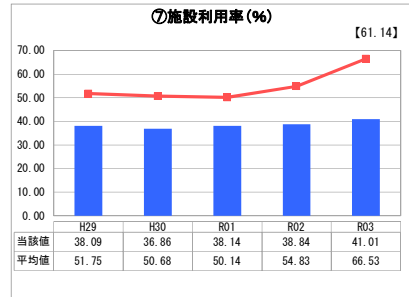
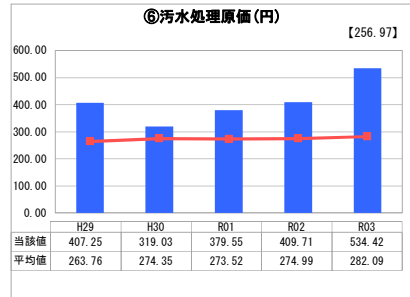
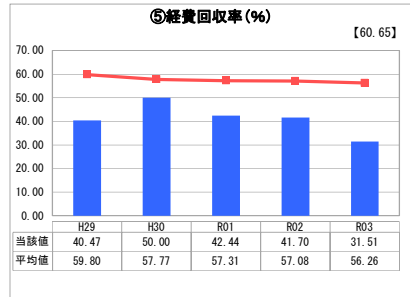
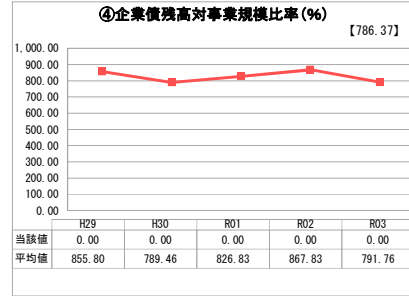
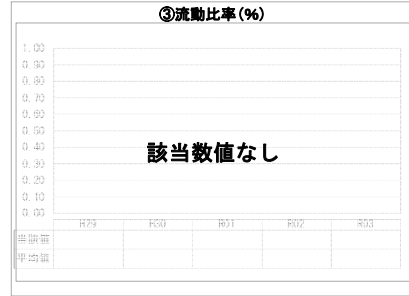
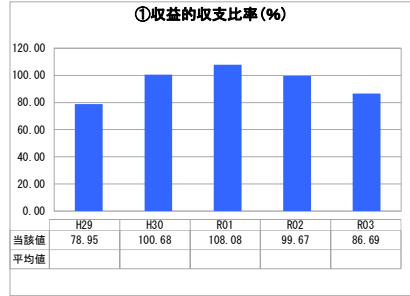
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.78	83.56	3,080

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,445	144.74	341.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,320	3.62	1,193.37

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

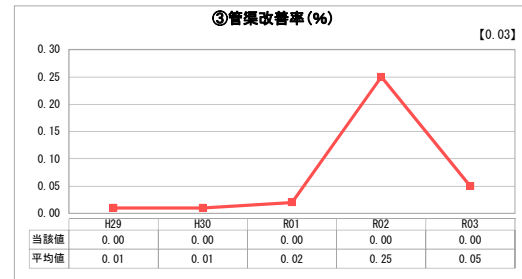
### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を下回っている要因としては、巴中部Ⅱ期地区の事業完了に伴う都道府県補助金の減額が挙げられる。  
 県補助金は一時的な収益であること、また、地方債償還の財源として減価基金を取り崩している状況であることを踏まえると、さらなるコスト削減や積極的な接続促進に取り組み、さらなる使用料収入等の収益増を図る必要がある。  
 ④企業債残高対事業規模比率は0%であるが、これは地方債償還元金を一般会計繰入金で賄っていることが要因として挙げられる。引き続き積極的な接続促進を図ることで、さらなる使用料収入を確保する必要がある。  
 ⑤経費回収率は、平均値と比較し下回っているため、今後も引き続き積極的な接続促進を図ることで、さらなる使用料収入を確保する必要がある。  
 ⑥汚水処理原価は、平均値と比較し上回っている要因としては、市内4箇所ある処理場等の維持管理費の増加が挙げられる。  
 ⑦施設利用率は、平均値を下回っている。季節による処理水量の変動も見受けられる中、今後も引き続き積極的な接続促進を図ることが必要である。  
 ⑧水洗化率は、平均値を下回っている中、当市としては微増である。今後も引き続き積極的な接続促進を図ることが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は0%である。  
 今後は、管渠の外、供用開始から10年以上を経過している処理施設もあることを踏まえ、点検調査等により改修等の優先度を決定するなど、計画的かつ効率的な維持管理に取り組む必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

農業集落排水施設の機能停止は、住民生活に多大な影響を及ぼすことから、管渠や処理施設等の将来的な老朽化を見据えた機能診断を実施するなどし、計画的かつ効率的な改修等、適切な維持管理を実施することが重要である。  
 また、これらに向けた財源の確保が大きな課題となることから、今後も引き続き、使用料収入の収益増に向けた積極的な接続促進や、公共下水道事業との広域化・共同化を図るなど、適正な財源の確保や維持管理費用の削減に努めることが非常に重要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。